

ごみのない美しい町を目指して
ごみゼロ運動統一美化キャンペーン



▲国道136号沿いのごみを拾う参加者

5月28日、ごみゼロ運動統一美化キャンペーンが町内全域で行われました。

同キャンペーンは、6月5日の「環境の日」にちなんで取り組みで、ごみの回収と参加者の環境意識の高揚、不法投棄・ごみのポイ捨て防止の啓発を目的として毎年5月の最終日曜日に行っています。

当日は、町職員、町議会議員、業者、企業に加え、各地区役員、小・中学校のPTA役員など約4,300人が町内の道路やグラウンドなどの清掃活動を行い、燃やせるごみ4.7トン、燃やせないごみ1.3トンのごみの回収を行いました。

大雨警報（土砂災害）を想定
上沢地区で土砂災害対応訓練

6月4日、上沢地区・上沢公民館で土砂災害対応訓練が行われました。

同訓練には上沢区民、県・町職員、ボランティア団体など約100人が参加。前日から雨が降り続き大雨警報が発令されていることを想定し、「避難準備・高齢者等避難開始」の発令により避難の呼びかけを実施、その後、「避難勧告」の発令により避難所の上沢公民館への誘導、避難者の受付などを行いました。

避難後は、県職員による土砂災害の講習や町職員による情報収集や避難行動講習会が行われ、非常事態に備える行動などを再確認しました。



▲上沢公民館前で避難受付名簿に記入を行う参加者

シャリ感の食感で糖度11度以上
函南西瓜目ぞろえ会



▲(平)マークのシールが函南西瓜の目印です

6月5日、JA三島函南 函南支店出荷場で函南町の特産品「函南西瓜」の目ぞろえ会が行われました。

目ぞろえ会は、生産者、市場関係者、農協職員により出荷するスイカの大きさや形状、傷、へこみによる外観、たたいた音などで中身を確認し、「秀」「優」「良」の3等級の等級と重さによる階級の基準を統一します。

函南西瓜組合の組合長は「3月、4月の曇天による日照不足が原因で、過去50年間で1番の悪条件だった。しかし、5月からの天候回復により出荷までたどり着いた。味も糖度も十分で例年どおり申し分ない」と話してくれました。

緑化推進、花や野菜を育てる楽しみを味わう
函南町みどりまつり



▲色とりどりの季節の花を選ぶ来場者

4月22日、4月23日の2日間、函南町役場東側駐車場で「函南町みどりまつり」が開催されました。

みどりまつりは、町内の緑化推進、花や野菜などを育てる楽しみを味わってもらうことを目的に行われ、園芸店、飲食店、田方農業高校などが出店し、約2,500人の来場者が訪れました。

会場では、色とりどりの季節の花や庭木の販売のほか、食べ物・野菜・堆肥・函南ブランド認定品の販売、液肥の無償配布、寄せ植え教室、何でも競り市、福引などが行われにぎわいました。

第2の故郷へ報告
Bリーグ シェリフ ソウ選手が表敬

5月8日、バスケットボールBリーグ豊田通商ファインティングイーグルス名古屋に所属しているシェリフ ソウ選手がBリーグの全日程を終了したことを森町長に報告しました。

シェリフ ソウ選手は、高校時代の恩師が函南町に在住していることをきっかけに、高校時代から函南町を訪れ、今では第2の故郷として長期の休暇の際は必ず函南町を訪れるとのことでした。

ソウ選手は「湯〜トピアかなみの大きなお風呂に入ると心身ともにリラックスする。今後はバスケット教室などで函南町の子どもたちに自分の経験を伝えたい」と話してくれました。



▲Bリーグ全日程を終了したことを報告するシェリフソウ選手

狩野川流域で水防演習
広域で水害対策の連携強化



▲水防マット工法を披露する函南町消防団

5月14日、三島市長伏地内の狩野川堤防で平成29年度狩野川連合総合水防演習・広域連携防災訓練が行われました。

同訓練は、狩野川流域における過去最大規模の演習で、狩野川台風の教訓や全国各地で発生している水害対策として水防関係者の技能の習熟と防災関係機関の相互連携による防災体制の確立を図ることを目的に、狩野川流域の8自治体と国、県などの防災関係者ら約1,600人が参加しました。

訓練では、堤防の越水・漏水対策の水防工法など43項目の演習に取り組み、函南町からは函南町消防団と役場消防隊が参加し、水防マット工法と排水ポンプ車による排水作業を披露しました。